

ふくしま 再生 短信

2020/11/14-15 栃木県立大田原高等学校スーパーサイエンスチーム 来村



サイエンス 科学と対話

2020年11月14/15日、栃木県立大田原高校生徒12名が植木淳校長と加藤信行教諭・磯(いそ)慶彰教諭引率のもと来村。同校は2019年からスーパーサイエンスハイスクール(SSH)指定校。スーパーサイエンス部一行12名が実習参加。<ドロえもん博士>こと東京大学大学院農学生命科学研究科教授・溝口勝さんが母校後輩に2020飯館実習を企画し実施支援。

1日目・14日13時、雲ひとつない快晴の下開講式にふくしま再生の会理事長・田尾陽一さん、副理事長・菅野宗夫さんが出席(写真1)。最初の取組みは佐須老人クラブ前会長・菅野永徳さんの農園で里芋掘り(写真2)。次いで放射線測定用とおやつ用に包丁入れ。測定小屋では小原壮二さんの作物放射線測定講習(写真3)とデータ解析(写真4)。埋設土壌の放射線測定は博士直々の指導、フィールドで溝口式「紙芝居」が威力発揮(写真5)。夕暮れ迫る中、佐野隆章さん指導下宗夫牧場で最大放射線量の探索ゲーム(写真6)。イノシシカメラ設置後宿のきこりに移動。夕食後ドロえもん放射線クイズ大会。表彰式後飯館



写真7：村長・杉岡誠さん(右)と生徒たちの対話

村村長・杉岡誠さん講演は「農」の再生、「ワクワクする村に」(写真7)。

2日目・15日、8時半松塚土壌博物館へ溝口館長と(写真8)、復興の象徴＝牛たちの真中で(写真9)。比曾で農業委員会会長・菅野啓一さん「居久根を自力で除染し土壌の放射線下げ、天明の飢饉7千人亡くなるも村捨てず、飯館の記憶みなさんの人生に役立てて」(写真10)。最大放射線探索ゲーム継続。分断の象徴・長泥ゲートへ(写真11)線量測定も実施。小宮の花仙人・大久保金一さんにコルチカム株分けの極意教わる(写真12)。佐須に戻り総括対話集会、明治大学「次世代養液土耕システム」に取組む宗夫さん事業ハウスで(写真13)。宗夫さん「出会いから行動へ来年も来てください」。田尾さん「若い頭脳の選択能力で地球減ぼさないように」。溝口さん「脳と体の実践知を」。スーパーサイエンス自然科学班長・高2・二瓶混介さん「村のいま、膚で知った」教諭・加藤信行さん「村の現状と課題、生徒自身の目で見ることができた」。ぬける青空、若人達に幸あれ。(文責&撮影・若林一平)